

2019年度事業報告書

2019年4月1日から2020年3月31日まで

法人の名称 特定非営利活動法人

チャイルドファーストジャパン

1 事業の成果

特定非営利活動に係る事業については、原則として、昨年度の事業内容を継続した。従って、主たる事業は、ケースワーク事業、オンブズパーソン活動、研究・研修事業、啓発事業であった。

2015年2月7日に開所した『子どもの権利擁護センターかながわ』で実施する子どもの権利擁護センター事業を、ケースワーク事業の中心事業の一つに位置づけた。今年度もこれを継続した。

啓発事業のうち、乳幼児揺さぶられ症候群(SBS)予防教育事業は、昨年度に引き続き、神奈川県との事業に協力することで、SBS 予防教育実施医療機関のさらなる増加に努めた。

昨年度に引き続き、ChildFirst Japan ファカルティによる RIFCR™ 研修を継続した。

Gundersen National Child Protection Training Center (GNCPTC)が、2014年にChildFirst™をChildFirst®として正式に商標登録したことに基づき、ChildFirst Japan も2014年度にChildFirst™ 司法面接プロトコルをChildFirst® 司法面接プロトコルに改訂し、今年度も司法面接研修を継続した。

また、2015年2月7日に『子ども権利擁護センターかながわ』を開所したことに基づき、それまでは社会福祉法人子どもの虐待防止センター（東京）に協力する形で実施していた虐待被害児診察技術研修を2015年度から当法人の事業としても開始し、今年度も継続した。

なお、これら、ChildFirst Japan 研修事業は、特定非営利活動に係る事業会計と切り離し、ChildFirst Japan 特別会計で管理する。このChildFirst Japan 特別会計は、特定非営利活動に係る事業と収益事業とに分け、当法人が会場を準備し、受講者を募集して実施するセンター型 ChildFirst® 司法面接研修とセンター型 RIFCR™ 研修およびセンター型虐待被害児診察技術研修を特定非営利活動に係る事業とし、地方自治体等の団体・組織から招聘され、委託事業として実施する出前型 ChildFirst® 司法面接研修と出前型 RIFCR™ 研修および出前型虐待被害児診察技術研修を収益事業とした。

これによって、収益事業を、一般会計収益事業とChildFirst Japan 特別会計収益事業の二つに分けることとした。

2 事業内容

(1) 特定非営利活動に係る事業

①子ども虐待・ネグレクトのケースワーク事業

ア ケースワーク事業

- ・内 容 児童相談所・各市町村等が開催する個別ケース検討会議等に、要請に応じて出席し、事例の重症度判定およびケースワーク方針等について助言・協力する事業だが、2019年度は行わなかった。

- ・日 時 虐待・ネグレクトの事例が発見され、個別ケース検討会議の必要が生じたとき
- ・場 所 子どもの権利擁護センターかながわ 2階 研修室
- ・従事者人員 各回1～3人
- ・対 象 者 虐待・ネグレクトの専門家で当該事例に関わる人、各回3～10人

イ 子どもの権利擁護センター事業

- ・内 容 2015年2月7日に、当法人の事務所の1階に開所した『子どもの権利擁護センター(CAC)かながわ』を子どものためのワン・ストップ・センターとして機能させ、虐待・ネグレクトなどの人権侵害を受けたと疑われる子どもたちや犯罪被害に遭った子どもたち、犯罪を目撃した子どもたち等に対して、多機関連携チーム(MDT: Multidisciplinary Team)の枠組みで司法面接と系統的全身診察を実施した。
- ・日 時 2019年 4月 1日(月) 午後
2019年 4月 3日(水) 午後
2019年 4月24日(水) 午後
2019年 7月24日(水) 午後
2019年11月20日(水) 午後
2019年12月 4日(水) 午後
2019年12月11日(水) 午後
2020年 2月19日(水) 午後
- ・場 所 この法人の事務所の1階に設置された『子どもの権利擁護センターかながわ』
- ・従事者人員 各回4～6人
- ・対 象 者 虐待・ネグレクトの疑われる子ども、原則として1日に1人ずつ

②子ども虐待・ネグレクトを扱う行政機関に対するオンブズパーソン活動

ア 苦情相談

- ・内 容 電話もしくは事務局窓口にて、行政機関利用者からの虐待・ネグレクトの処遇に関する苦情を受理し、相談に応じ、必要があれば行政への提言を行った。
- ・日 時 通年、週2回(月・水曜日) 午前10時～午後4時
- ・場 所 この法人の事務所
- ・従事者人員 各回2人
- ・対 象 者 虐待・ネグレクトに関して行政機関を利用した者

③研究・研修事業

ア 研修会

- ・内 容 虐待・ネグレクトの専門家を対象とした研修会の開催
- ・日 時 第84回 2019年 5月25日(土)(講師; CFJ 理事長 山田 不二子)
第85回 2019年 9月 8日(日)(講師; CFJ 理事 溝口 史剛)
第86回 2019年12月15日(日)(講師; 古田 洋子氏)

第87回 2020年 2月 1日(土)(講師;田口 めぐみ氏)

- ・場 所 子どもの権利擁護センターかながわ 2階 研修室、神奈川県総合医療会館
- ・従事者人員 約10人
- ・参加者 子ども虐待・ネグレクトの専門家
各回 9名~37名(延べ87名;会員 28名、非会員 53名、学生 6名)

イ 電話相談員等ボランティア養成事業

- ・内 容 「虐待相談かながわ」の電話相談員等、子ども虐待・ネグレクトの防止活動ボランティアを養成するための講座を開設した。
- ・日 時 2019年4月~8月
基礎講座 2時間30分×4回(4月25日、5月9日、16日、23日)
講師;理事長 山田 不二子
実践講座 3時間×3回(5月29日、6月5日、12日)
指導者;この法人の電話相談員6人
応用講座 2時間30分×4回(6月27日、7月4日、18日、8月8日)
講師;理事長 山田 不二子
- ・場 所 子どもの権利擁護センターかながわ 2階 研修室
- ・従事者人員 1~10人
- ・対象者 一般市民の中で電話相談員等子ども虐待防止ボランティア活動を志望する者
- ・参加者 基礎講座14名、実践講座4名、応用講座4名

ウ 「CACかながわ」ケース・カンファレンス

- ・内 容 「子どもの権利擁護センター(CAC)かながわ」で実施した司法面接の録画ビデオを使ってピア・レビューを実施し、司法面接者の技術向上を目指す。
- ・日 時 適宜実施することとしているが、今年度は実施しなかった。
- ・場 所 子どもの権利擁護センターかながわ 2階 研修室
- ・従業者人員 4~6人
このうち、理事長 山田 不二子はスーパーバイザー
- ・対象者 この法人の「子どもの権利擁護センターかながわ」スタッフと電話相談員

エ ChildFirst Japan センター型 RIFCR™ 研修

- ・内 容 通告義務者向けの聞き取り研修
- ・日 時 横浜会場(神奈川総合医療会館)
2019年 4月13日(土) 参加者: 37名
2019年 6月23日(日) 参加者: 38名
2019年 8月25日(日) 参加者: 38名
2019年12月 7日(土) 参加者: 39名
2020年 2月 9日(日) 参加者: 37名
2020年 3月15日(日) 参加者: 16名
名古屋会場(ウイंकあいち 愛知県産業労働センター)
2019年 5月18日(土) 参加者: 38名

2019年 9月14日(土) 参加者：39名
 2020年 3月14日(土) 参加者：15名
 三重会場（じばさん三重 三重北勢地域地場産場振興センター）
 2019年 7月 7日(日) 参加者：38名
 2020年 2月 2日(日) 参加者：38名
 大阪会場（エル・おおさか 大阪府立労働センター）
 2020年 2月23日(日) 参加者：38名
 2020年 2月24日(月祝)参加者：39名
 計13回

- ・場 所 神奈川総合医療会館、ウィンクあいち 愛知県産業労働センター、
じばさん三重 三重北勢地域地場産場振興センター、
エル・おおさか 大阪府立労働センター
- ・講 師 ChildFirst Japan RIFCR ファカルティー 各回3～4人
- ・対 象 者 小・中・高校の養護教諭や幼稚園教諭・保育士など、子どもの性虐待を発見
しやすい職種に従事する者、各回定員40人
- ・参 加 者 各回 15～40人（延べ 450人）

オ ChildFirst Japan センター型 ChildFirst[®]司法面接研修

- ・内 容 多機関連携チーム(MDT)の枠組みで実施する司法面接（調査・捜査のための
聞き取り）の研修。研修プロトコルは、GNCPTC（Gundersen National Child
Protection Training Center）が開発した ChildFirst[®]司法面接プロトコル。
- ・日 時 第1回；2019年 5月29日(水)～ 6月 2日(日) 参加者：20名
第2回；2019年 7月11日(木)～15日(月・祝) 参加者：20名
第3回；2019年 9月25日(水)～29日(日) 参加者：20名
第4回；2019年10月31日(木)～11月4日(月・祝)参加者：20名
第5回；2020年 2月28日(木)～ 3月 1日(日) 参加者：19名
- ・場 所 子どもの権利擁護センターかながわ 2階 研修室
および1階 面接室と観察室
- ・講 師 ChildFirst Japan 司法面接研修ファカルティー（ChildFirst[®] 司法面接研修
GNCPTC 認定トレーナー）8人
- ・対 象 者 全国の児童相談所職員、警察官、検察官、家庭裁判所調査官、弁護士、医師
・看護師等医療職などの多職種専門家、各回定員20人（延べ80人）
- ・参 加 者 各回 19～20人（延べ 99人）

カ センター型虐待被害児診察技術研修

- ・内 容 多機関連携チーム(MDT)を構成する医療者、児童相談所職員、警察官、検察
官や将来、子どもの権利擁護センター(CAC)の職員として活動する可能性の
ある職専門職を対象として、MDT のあり方を研修するとともに、虐待被害
児の病態理解と診察技術の習得を目指した。
従来の1日型研修に加え、今年度より、遠方からの受講者に配慮した2日型
研修を創設した。

- ・日 時 1日型：
 - 2019年 5月12日(日) 参加者：10名
 - 2019年 7月 7日(日) 参加者：12名
 - 2020年 1月19日(日) 参加者：10名
 2日型：
 - 2019年11月23日(土)～24日(日) 参加者：13名
 - 2020年 3月20日(金・祝)～21日(土) 参加者：7名
 計5回
- ・場 所 子どもの権利擁護センターかながわ 2階 研修室および1階 診察室
- ・講 師 理事長 山田 不二子
- ・対 象 者 前半講義のみ参加；子ども虐待に関わる全ての専門職種、各回定員14人
前半講義及び後半講義と実技参加；医師、助産師、看護師等医療者および
MDT コア・メンバーとなる職種（児童福祉司、警察官、検察官、CAC 職員）、
各回定員10人
- ・参 加 者 各回 7～13人（延べ 52人）

キ 在宅支援技術研修

- ・内 容 「子育て世代包括支援センターと地域子ども家庭総合支援拠点」をテーマとして、市区町村職員（児童福祉担当、母子保健担当、障害福祉担当、生活保護担当、DV 担当、教育委員会等）民生児童委員、保育士、学校の教職員など、在宅支援にあたる職種間がお互いの役割や活動を相互に理解し、情報共有と連携協働の方法論を学ぶ。
- ・日 時 2019年 6月16日(日)
2019年 8月24日(土)
2019年10月26日(土)
2020年 1月18日(土)
2020年 3月14日(土)
- ・場 所 神奈川県総合医療会館、TKP横浜駅西口カンファレンスセンター
- ・講 師 理事長 山田 不二子
- ・従事者人員 2人
- ・参 加 者 19名

④啓発事業

ア 学術集会

- ・内 容 第22回子ども虐待防止シンポジウム 学術集会
「虐待・ネグレクトを受けた子どもたちの治療」をテーマとして、子ども虐待対応における家庭裁判所の果たす役割の重要性を研修する。当法人正会員の中から実行委員を選出して企画運営を行う。経理は「2019年度子ども虐待防止シンポジウム事業特別会計」で管理する。
- ・日 時 2019年11月9日(土)
- ・場 所 ラジオ日本会議室

- ・海外招聘講師 Olga Trujillo 氏：米国弁護士、コンサルタント
- ・日本人講師 白川 美也子氏：こころとからだ・光の花クリニック院長
菊地 祐子氏：東京都立小児総合医療センター 心理・福祉科医長
古田 洋子氏：埼玉県中央児童相談所 常勤医師
2～3人
- ・従事者人員 12～15人
- ・対象者 児童福祉・母子保健・医療・教育・司法・警察の各関係者（約144人）
- ・参加者 110名（2日間の参加者実数；116名、参加費納入者数；123名）

イ パネル・ディスカッション

- ・内 容 第22回子ども虐待防止シンポジウム パネル・ディスカッション
午前の部：日本における被虐待児治療の実状
午後の部：虐待・ネグレクトを受けた子どもたちのためのこれからの治療
- ・日 時 2019年11月10日(日)
- ・場 所 ラジオ日本会議室
- ・パネリスト Olga Trujillo 氏（米国弁護士、コンサルタント、講師）
白川 美也子氏：こころとからだ・光の花クリニック院長
菊池 祐子氏：東京都立小児総合医療センター 心理福祉科医長
古田 洋子氏：埼玉県中央児童相談所 医師
- ・座 長 山田 不二子（CFJ 理事長）
- ・従事者人員 12～15名
- ・対象者 児童福祉・母子保健・医療・教育・司法・警察の各関係者（約144人）
- ・参加者 96名（2日間の参加者実数；116名、参加費納入者数；123名）

ウ 乳幼児揺さぶられ症候群(SBS)予防教育事業

- ・内 容 神奈川県と伊勢原市が米国のプログラムを元に共同開発した乳幼児揺さぶられ症候群(SBS)予防教育プログラムや各医療機関が独自に開発した SBS 予防教育プログラム等を神奈川県内の医療機関に広める神奈川県の事業に協力することで、SBS 予防教育実施医療機関のさらなる増加を図った。
- ・日 時 通年
- ・場 所 愛育病院等、小田原保健福祉事務所
- ・従業者人員 4～6人
- ・対象者 指導者研修：各病院産科病棟・新生児室の看護師・助産師

エ ニュースレターの発行

- ・内 容 ニュースレターを発行した。
- ・日 時 年2回、2019年4月（300部）
- ・場 所 この法人の事務所
- ・従事者人員 6～10人
- ・対象者 この法人の会員等、約300人

オ インターネット・ホームページの開設

- ・内 容 インターネット・ホームページを2002年4月に開設し、今年度も継続した。
- ・日 時 通年
- ・場 所 この法人の事務所
- ・従事者人員 1人

カ 一般社団法人日本子ども虐待防止学会第25回学術集会・ひょうご大会 パネル展示

- ・内 容 一般社団法人日本子ども虐待防止学会(JaSPCAN)第25回学術集会・ひょうご大会に参加し、啓発活動の一環として当法人活動を紹介するパネルを展示した。
- ・日 時 2019年12月21日(土)～22日(日)
- ・場 所 神戸国際会議場・神戸ポートピアホテル
- ・従業者人員 3～5人
- ・対 象 者 JaSPCAN 第25回学術集会・ひょうご大会の参加者

(2) 収益事業

①電話相談事業

ア 虐待相談かながわ

- ・内 容 電話相談員養成講座を受講した電話相談員が虐待・ネグレクトをする保護者等からの電話相談を通して、事例のモニタリングとカウンセリングを行い、虐待・ネグレクトの専門家からの相談にも対応して、助言・協力を行った。
- ・日 時 通年、週2回(原則として月・水曜日) 午前10時～午後4時
- ・場 所 この法人の事務所内 電話相談室
- ・従事者人員 各回2人
- ・対 象 者 虐待・ネグレクトをする保護者、虐待・ネグレクトに関わる専門家等 各回0～4人、相談受理件数延べ23件

②研究・研修事業

ア 「虐待相談かながわ」ケース・カンファレンス

- ・内 容 この法人の電話相談員の資質と専門性の向上のための事例検討会の開設
- ・日 時 月2回、原則として第一月曜日 午後3時～6時、第三水曜日午後6時～8時、ただし、司法面接・系統的全身診察が行われない場合は4時～6時
2019年4月17日(水)、5月13日(月)、5月22日(水)、
6月19日(水)、7月17日(水)、8月28日(水)、9月11日(水)、
10月16日(水)、11月11日(月)、12月2日(月)、12月25日(水)、
2020年1月15日(水)、2月12日(水)、3月18日(水)
- ・場 所 子どもの権利擁護センターかながわ 2階 研修室
- ・講 師 理事長 山田 不二子(スーパーバイザー)
- ・従業者人員 2～3人
- ・対 象 者 この法人の電話相談員6～12人

イ ChildFirst Japan 出前型 RIFCR™ 研修

- ・内 容 通告義務者向けの聞き取り研修を招聘元に出向して実施した。
- ・日 時 2019年7月31日(水)、8月1日(木)：福岡県福岡市
 - ・招聘元：福岡市こども総合相談センター
 - ・場 所：福岡市市民福祉（ふくふく）プラザ
 - ・参加者：7月31日(水)40名、8月1日(木)40名
- 2019年8月3日(金)：鹿児島県鹿児島市
 - ・招聘元：せんだいCAP
 - ・場 所：鹿児島市勤労者交流センター
 - ・参加者：39名
- 2019年8月7日(水)：京都府京都市
 - ・招聘元：京都府家庭支援総合センター
 - ・場 所：京都府家庭支援総合センター
 - ・参加者：40名
- 2019年8月19日(月)：富山県富山市
 - ・招聘元：NPO 法人 ハッピーウーマンプロジェクト
 - ・場 所：富山県民会館
 - ・参加者：23名
- 2019年9月10日(火)：長野県上田市
 - ・招聘元：うえだみなみ乳児院
 - ・場 所：上田創造館
 - ・参加者：35名
- 2019年9月14日(土)：群馬県前橋市
 - ・招聘元：群馬大学医学部附属病院
 - ・場 所：群馬大学医学部附属病院
 - ・参加者：40名
- 2019年10月5日(土)、6日(日)：北海道函館市
 - ・招聘元：函館中央病院
 - ・場 所：函館中央病院
 - ・参加者：10月5日(土)39名、6日(日)37名
- 2019年10月15日(火)：岩手県盛岡市
 - ・招聘元：岩手県福祉総合相談センター
 - ・場 所：岩手県福祉総合相談センター
 - ・参加者：38名
- 2019年11月30日(土)：愛知県名古屋市
 - ・招聘元：日本福祉大学
 - ・場 所：日本福祉大学 東海キャンパス
 - ・参加者：35名
- 2019年12月7日(土)：群馬県前橋市
 - ・招聘元：群馬大学医学部附属病院

- ・場 所：群馬大学医学部附属病院
- ・参加者：40名
- 2020年1月26日(日)：山口県下関市
 - ・招聘元：チャイルドラインしものせき
 - ・場 所：なかべこども家庭支援センター紙風船 地域交流室
 - ・参加者：38名
- 2020年3月29日(日)：千葉県千葉市
 - ・招聘元：NPO 法人千葉性暴力被害支援センターちさと
 - ・場 所：千葉医療センター
 - ・参加者：25名
- ・講 師 ChildFirst Japan RIFCR™ ファカルティ 各回3～4人
- ・従事者人員 6～7人 (このうち、3～4人はRIFCR ファカルティ)
- ・対 象 者 小・中・高校の養護教諭や幼稚園教諭・保育士など、子どもの性虐待を発見しやすい職種に従事する者、各回定員40人
- ・参 加 者 各回23～40人 (延べ509人)

ウ ChildFirst Japan 出前型 ChildFirst® 司法面接研修

- ・内 容 自治体等の団体・組織からの招聘に基づき、GNCPTC (Gundersen National Child Protection Training Center)が開発したChildFirst®司法面接プロトコルを多機関連携チーム(MDT: Multidisciplinary Team)で構成された受講者に研修し、MDTの枠組みで司法面接を実施する体制を各地に構築する事業だが、2019年度はChildFirst Japan 出前型ChildFirst®司法面接研修を開催しなかった。
- ・日 時 0回
- ・講 師 ChildFirst Japan 司法面接研修ファカルティ (ChildFirst®司法面接研修GNCPTC 認定トレーナー) 8人
- ・対 象 者 各県・政令市で活動する児童相談所職員、警察官、検察官、家庭裁判所調査官、弁護士、医師・看護師等医療職などの多職種専門家、各回定員20人
- ・従業者人員 8～10人 (このうち、7人はChildFirst Japan 司法面接研修ファカルティ)

エ 出前型虐待被害児診察技術研修

- ・内 容 自治体等の団体・組織からの招聘に基づき、多機関連携チーム(MDT)を構成する医療者、児童相談所職員、警察官、検察官、子どもの権利擁護センター(CAC)職員等を対象として、MDTのあり方を研修するとともに、虐待被害児の病態理解と診察技術の習得を目指した。
- ・日 時 2019年 6月30日(日)
 - ・招聘元：横浜市児童相談所
 - ・場 所：横浜中央児童相談所
 - ・参加 42名
- 2019年 9月 1日(日)

- ・ 招聘元：横浜市児童相談所
 - ・ 場 所：横浜中央児童相談所
 - ・ 参加者： 6名
- 延べ受講者数 48人
- ・ 講 師 理事長 山田 不二子
 - ・ 従業者人員 1～3人
 - ・ 対 象 者 招聘元が招集した参加者
 - ・ 従業者人員 3～5人（このうち、1人は理事長 山田 不二子）

オ 『子どもの権利擁護センターかながわ』見学および研修

- ・ 内 容 『子どもの権利擁護センターかながわ』施設見学および研修
- ・ 日 時 2019年10月10日、12月4日、12月10日、12月25日、
2020年2月25日
計4回
- ・ 場 所 子どもの権利擁護センターかながわ 2階 研修室および1階
- ・ 従事者人員 各回1～3人
- ・ 参 加 者 児童福祉・母子保健・医療・教育・司法・警察 他

③ 専門家派遣事業

ア 講演会・講義等に対する講師派遣

- ・ 内 容 この法人に対して、他団体から講演会・講義等の講師の招聘があったときに、当法人の役員や正会員を派遣する。
- 東京医科歯科大学 医学部 医学科：公衆衛生学 学外実習
2019年5月22日
- 公立大学法人県立広島大学：聞き取り調査対応
2019年5月25日
- 社会医療法人愛仁会高槻病院：SBS予防教育研修 講師
2019年6月15日
- 横浜中央児童相談所：被害確認研修「面接者フォロー研修」 講師
2019年6月17日
- 海老名市保健福祉部子育て相談課：海老名市要保護児童対策地域協議会 研修 講師
2019年6月20日：
- 社会福祉法人雲柱社：虐待予防研修 講師
2019年6月25日
- 神奈川県立保健福祉大学 実践教育センター：子ども虐待予防研修 講師
2019年7月9日、16日、23日
- 神奈川県立座間養護学校：県立学校人権教育校内研修会 講師
2019年7月30日
- 四国こどもとおとなの医療センター：児童虐待防止医療ネットワーク事業
研修会 講師

2019年8月4日

宮崎県医師会学校医部会：宮崎県医師会学校医部会医学会 講師

2019年8月17日

兵庫県尼崎市：いくしあ開設記念シンポジウム基調講演 講師

2019年10月19日

横浜市中央児童相談所：被害確認研修「面接者フォロー研修」 講師

2019年10月21日

静岡県沼津市：子育てSOS講演会 講師

2019年11月16日

神奈川県子どもみらい部次世代育成課：SBS予防プログラム医療機関等出張講座 講師

2019年11月22日、12月5日、12月13日、12月26日

東京都福祉保健局少子社会対策部家庭支援課：児童虐待対応研修 講師

2019年12月2日

静岡県警察本部：静岡県警察学校 検視実務専科 講師

2019年12月24日

社会福祉法人かながわ共同会：秦野精華園園内研修会

2020年1月20日

石川県少子化対策監室：医療機関向け児童虐待対応強化研修 講師

2020年2月2日

静岡県長泉町：潜在保育士研修 講師

2020年2月6日

- ・日 時 招聘に応じて
- ・場 所 招聘地
- ・講 師 この法人の役員または正会員
- ・従業者人員 1～3人
- ・対 象 者 招聘元が招集した参加者

イ 司法面接者・診察医派遣

- ・内 容 この法人に対して、児童相談所・警察・検察等から司法面接者・虐待被害児診察医の派遣要請があったときに、当法人の ChildFirst Japan ファカルティを派遣する事業だが、2019年度は行わなかった。
- ・日 時 派遣要請に応じて
- ・場 所 招聘地
- ・派 遣 者 この法人の ChildFirst Japan ファカルティ
- ・従事者人員 1人
- ・対 象 者 招聘元が関わっている虐待被害児や犯罪を目撃した児童

ウ 原稿執筆

- ・内 容 2019年度は、原稿の作成を行わなかった。
- ・日 時 0回

- ・場 所 当法人の事務所
- ・従事者人員 1人

④意見書・鑑定書作成事業

- ・内 容 子ども虐待ケースについてのスーパーバイズ及び意見書を作成。
- ・日 時 2019年8月
- ・場 所 当法人の事務所
- ・従事者人員 1人

⑤アナトミカル・ドール販売事業

- ・内 容 国際的に定評のある Teach-a-Bodies 社製アナトミカル・ドールの仲介販売を行う。
- ・日 時 随時
- ・場 所 当法人の事務所
- ・従業者人員 2～4人
- ・対 象 者 青森地方検察庁、福井地方検察庁、静岡地方検察庁

(3) その他の事業

①チャリティー事業

ア チャリティー・パーティー

- ・内 容 この法人の正会員・賛助会員の親睦および特定非営利活動に係る事業の不足分資金の調達のために会費制の会食会を行う事業だが、2019年度は、チャリティー・パーティーを行わなかった。
- ・日 時 0回
- ・従事者人員 0人
- ・対 象 者 この法人の会員